



日本精工株式会社

2022年3月期

第3四半期

決算説明会

2022年2月4日
代表執行役社長・CEO
市井 明俊

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しています。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しています。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

1. 2022年3月期 第3四半期実績
2. 2022年3月期 通期予想
3. 今後の取り組み方針

- 1. 2022年3月期 第3四半期実績**
2. 2022年3月期 通期予想
3. 今後の取り組み方針

事業環境

- 産業機械は堅調 主に工作機械、半導体製造装置向け
- 自動車はサプライチェーン問題が想定よりも長期化
- 鋼材価格・海上運賃などの上昇継続 ● オミクロン株リスク

第3四半期 業績サマリー

(億円)	Q3		Q3累計	
	(10-12月)	対前年同期	(4-12月)	対前年同期
売上高	2,150	+6 +0.3%	6,328	+1,024 +19.3%
セグメント利益 ※ (対売上高率)	43 (2.0%)	-23 -35.0%	206 (3.3%)	+269 -
営業利益 (営業利益率)	51 (2.4%)	-6 -9.9%	208 (3.3%)	+258 -
税引前利益	53	-5 -8.1%	209	+258 -
当期利益 (親会社所有者帰属)	43	-0 -1.0%	121	+200 -

※セグメント利益：営業利益からその他の営業損益（為替差損益ほか）を除いたもの

2022年3月期 第3四半期実績サマリー②

(億円)	21/3期			22/3期		22/3期	
	Q3累計 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q3累計 実績	Q3累計 増減額	対前年同期 伸び率
売上高	5,303	2,135	2,043	2,150	6,328	+1,024	+19.3%
セグメント利益※ (対売上高率)	-63 (-1.2%)	91 (4.3%)	71 (3.5%)	43 (2.0%)	206 (3.3%)	+269	-
営業利益 (営業利益率)	-50 (-0.9%)	90 (4.2%)	67 (3.3%)	51 (2.4%)	208 (3.3%)	+258	-
税引前利益	-49	93	63	53	209	+258	-
当期利益 (親会社所有者帰属)	-79	47	30	43	121	+200	-
換算レート1USD	106.1	109.5	110.1	113.7	111.1	+5.0	+4.7%
" 1EUR	122.4	132.0	129.8	130.1	130.6	+8.3	+6.7%
" 1CNY	15.4	17.0	17.0	17.8	17.3	+1.8	+11.7%

※セグメント利益：営業利益からその他の営業損益（為替差損益ほか）を除いたもの

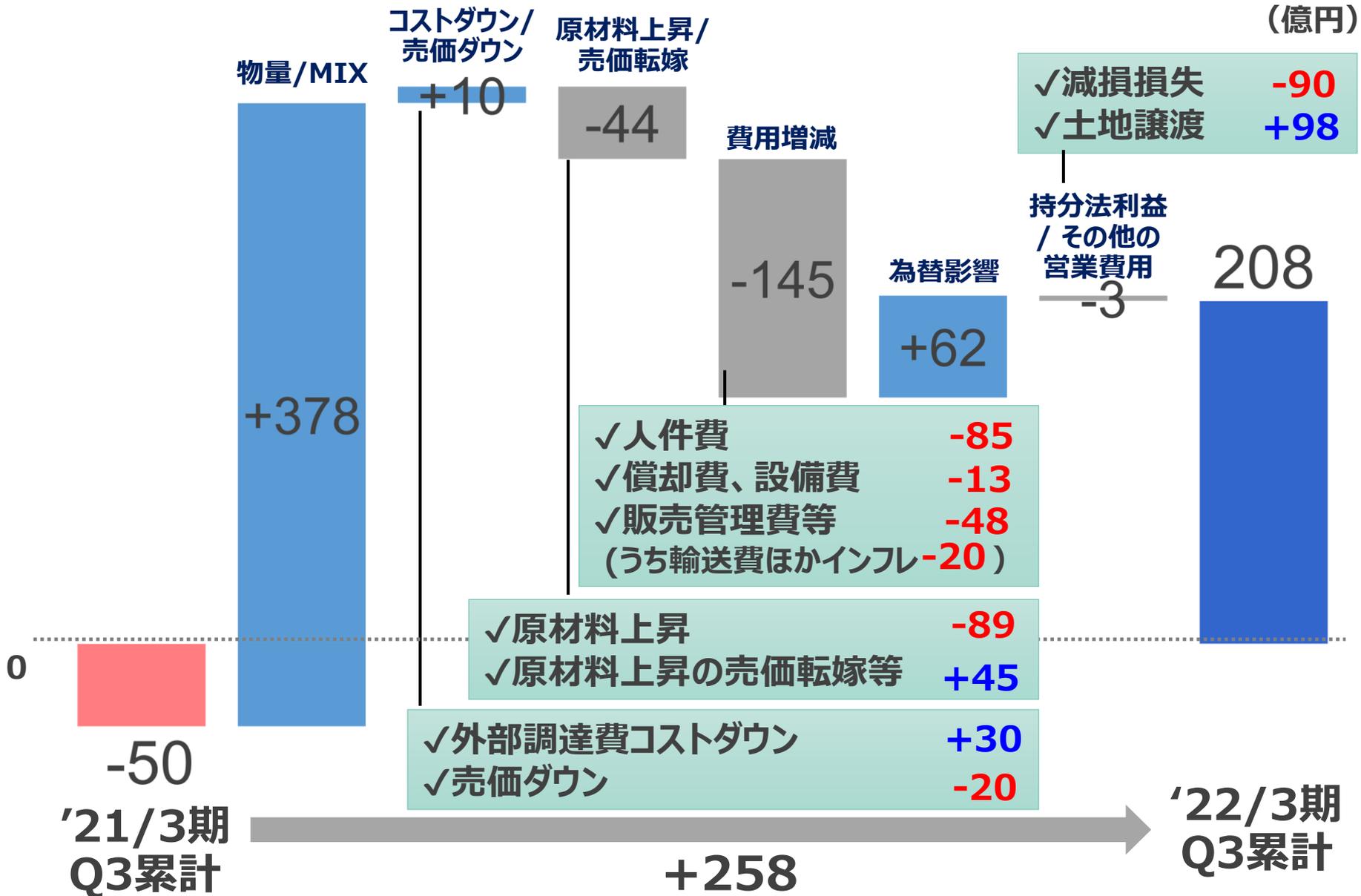
● Q3の営業利益は一過性要因含む（減損 -90億円、土地譲渡 +98億円）
自動車部品事業

● Q3累計 対前年同期増収増益

当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため、22/3期の第1四半期および第2四半期の利益項目にその修正が反映されております。

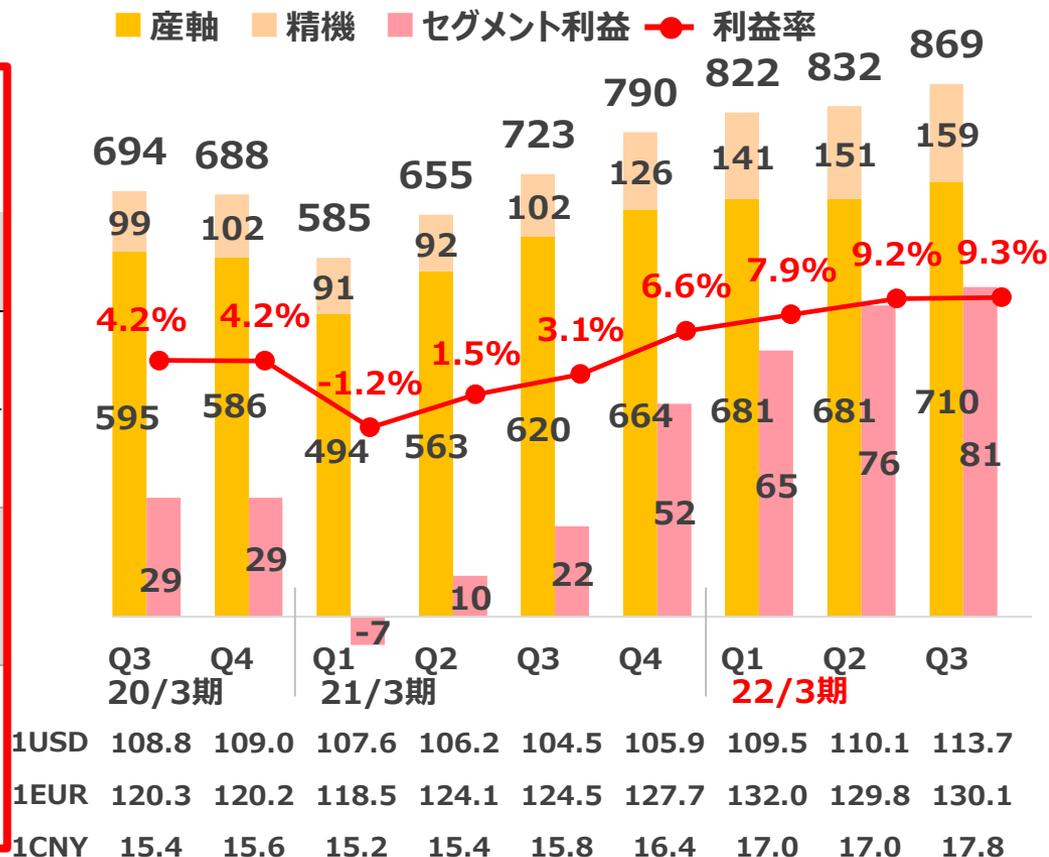
営業利益 増減内訳 ('21/3期Q3累計 ⇒ '22/3期Q3累計)

(億円)



(億円)

	21/3期 Q3累計 実績	22/3期 Q3累計 実績	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率
売上高	1,962	2,522	+560	+28.5%
産業機械軸受	1,677	2,071	+394	+23.5%
精機製品	285	451	+165	+58.0%
セグメント利益	25	222	+197	+787.9%
(対売上高率)	(1.3%)	(8.8%)		
換算レート1USD	106.1	111.1	+5.0	+4.7%
〃 1EUR	122.4	130.6	+8.3	+6.7%
〃 1CNY	15.4	17.3	+1.8	+11.7%



● 事業環境は前半実績に続いて好調 6四半期連続で増収増益

- ・ 工作機械、半導体製造装置向け：市場環境は依然好調
- ・ インフラ：風力、鉄道向け需要は横ばい継続
- ・ E&E：自動車向けは部材不足による減産影響もあり

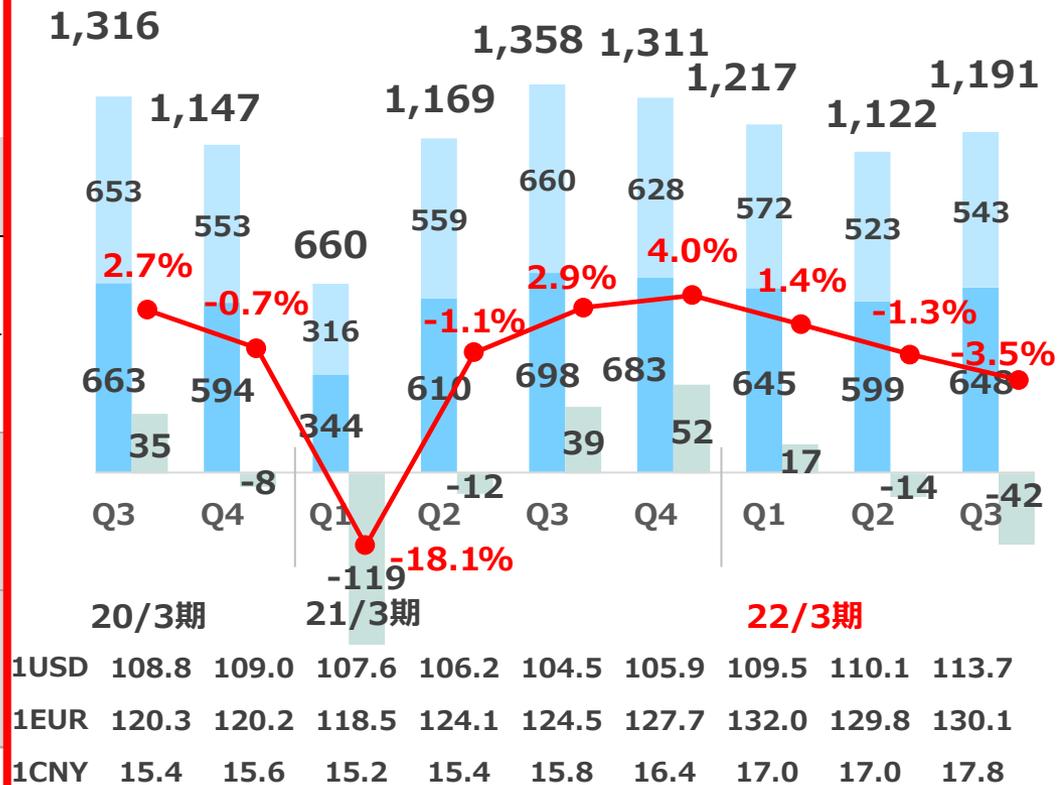
● 利益率はQ2に続き9%台で推移

自動車事業

(億円)

	21/3期 Q3累計 実績	22/3期 Q3累計 実績	対前年 同期 増減額	対前年 同期 伸び率
売上高	3,186	3,530	+343	+10.8%
自動車軸受	1,652	1,892	+241	+14.6%
自動車部品	1,535	1,637	+103	+6.7%
セグメント利益 (減損除く) (対売上高 率) (-2.9%)	-92	-39	+53	-
営業利益※ (減損含む) (対売上高 率) (-2.9%)	-92	-130	-37	-
換算レート1USD	106.1	111.1	+5.0	+4.7%
〃 1EUR	122.4	130.6	+8.3	+6.7%
〃 1CNY	15.4	17.3	+1.8	+11.7%

■ 自軸 ■ 自部品 ■ セグメント利益 ● 利益率



※セグメント利益には減損(その他営業費用)が含まれないため、自動車事業では営業利益を表示しています。

- グローバル自動車生産台数 Q3累計実績 56M台 (YoY -2%)
- Q3の売上高はサプライチェーン問題にて想定より下振れ。Q2→Q3増収減益
- Q3は自動車部品で減損損失計上。セグメント利益で赤字、軸受は黒字確保

1. 2022年3月期 第3四半期実績
2. 2022年3月期 通期予想
3. 今後の取り組み方針

事業環境

- 産業機械事業は堅調
- 自動車事業はサプライチェーン・オミクロン株による減産影響継続
- 鋼材価格・海上運賃などの上昇継続
- Q4の為替レートを見直し (USD114円 EUR130円 中国元17.8円)

11月公表の通期予想を見直し

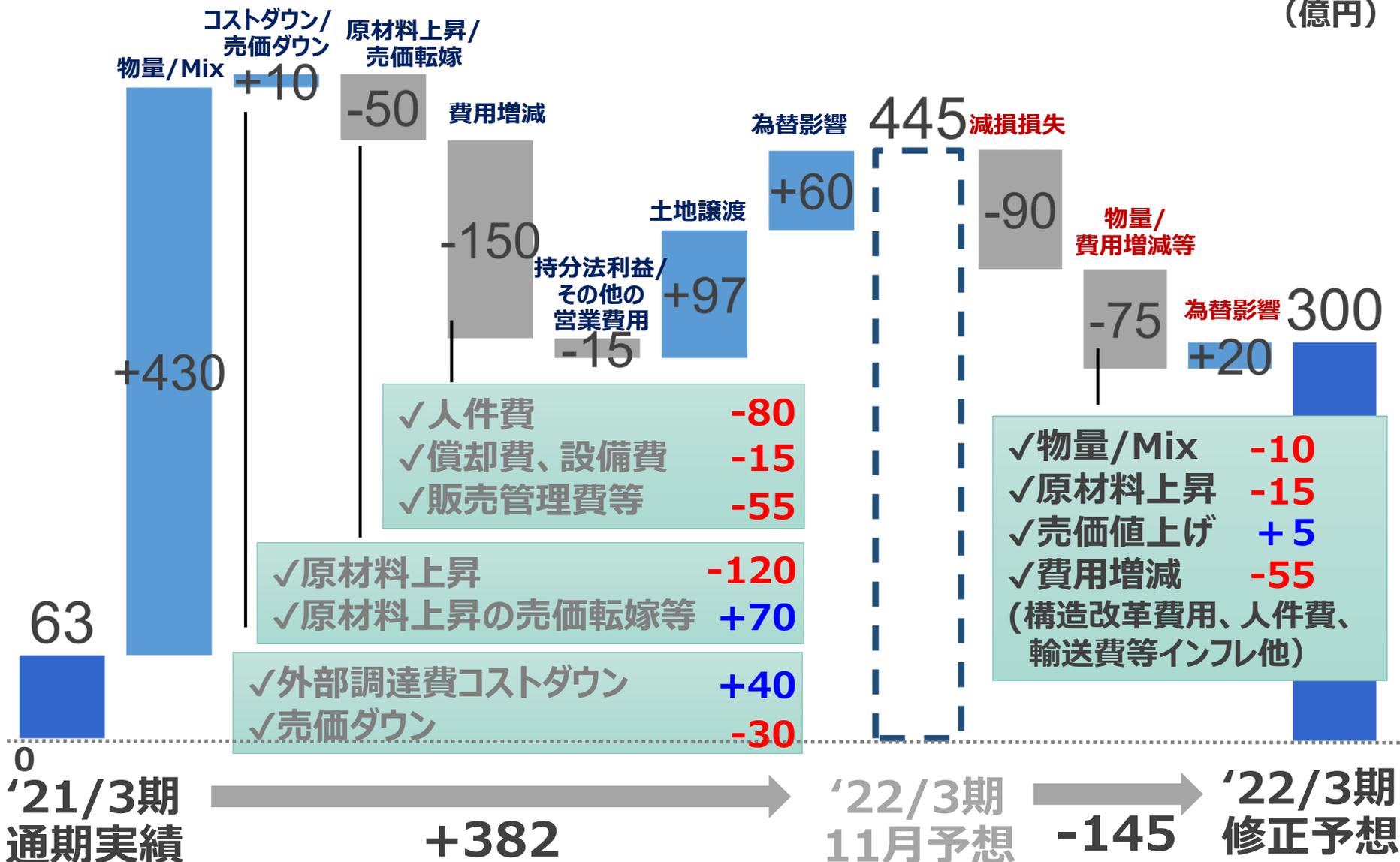
(億円)		対 11月予想差	
売上高	8,600	—	—
セグメント利益 ※	300	-60	-16.7%
(対売上高率)	(3.5%)		
営業利益	300	-145	-32.6%
(営業利益率)	(3.5%)		
税引前利益	300	-140	-31.8%
当期利益(親会社所有者帰属)	195	-105	-35.0%

※セグメント利益：営業利益からその他の営業損益（為替差損益ほか）を除いたもの

- **配当金は計画を据え置き 年間25円/株** (中間10円/株、期末15円/株)

営業利益 増減内訳 (21/3期 ⇒ 22/3期修正予想)

(億円)



2022年3月期 通期予想 セグメント別

産業機械事業

工作機械、半導体製造装置向け 堅調が継続

(億円)	11月予想	前半実績	Q3実績	22/3期		21/3期
				Q4予想	修正予想	通期実績
売上高	3,400	1,653	869	908	3,430	2,752
産業機械軸受	2,785	1,362	710	744	2,815	2,341
精機製品	615	292	159	164	615	411
セグメント利益	320	142	81	93	315	77
(対売上高 率)	(9.4%)	(8.6%)	(9.3%)	(10.2%)	(9.2%)	(2.8%)

自動車事業

自動車生産台数 11月予想 76M台 → 75M台 -1%

(前年 77M台)

(億円)	11月予想	前半実績	Q3実績	22/3期		21/3期
				Q4予想	修正予想	通期実績
売上高	4,800	2,339	1,191	1,260	4,790	4,497
自動車軸受	2,550	1,245	648	658	2,550	2,335
自動車部品	2,250	1,094	543	603	2,240	2,162
セグメント利益	0	3	-42	0	-40	-40
(対売上高 率)	(0.0%)	(0.1%)	(-3.5%)	(0.0%)	(-0.8%)	(-0.9%)

1. 2022年3月期 第3四半期実績
2. 2022年3月期 通期予想
3. 今後の取り組み方針

✓ リスクと課題

1. インフレ拡大による収益圧迫

- ・鋼材価格の大幅上昇、海上運賃や電力等も上昇継続
- 計画した鋼材上昇の市場価格への反映の完了とさらなる鋼材値上がり分の価格交渉の開始
- 海上運賃・電力等も含めたインフレ拡大への対応

2. サプライチェーン問題、新型コロナリスクの継続

- ・不安定稼働、操業停止によるアウトプットの減少
- ・生産変動と生産体制のアンマッチの常態化による生産効率悪化
- サプライチェーンリスクや新型コロナリスクを前提とした在庫運営の継続

✓ リスクと課題

3. サプライチェーンの回復と需要増加への対応

- 適正人員の確保と生産性の回復
- 供給能力の増強計画の実行（E&E需要の拡大）

✓ ステアリング事業の構造改革

- ・収益力の改善を進めるため 構造改革を行う

- ①拠点の再編 ②収益改善 ③人員配置転換

(補足資料)

補足. 事業セグメント別業績

(億円)		21/3期			22/3期			対前年同期			22/3期		
		Q3実績	Q3累計	通期	Q3実績	増減額	伸び率	Q3累計	増減額	伸び率	修正予想		
合計	売上高	2,144	5,303	7,476	2,150	+6	+0.3%	6,328	+1,024	+19.3%	8,600		
	セグメント利益	67	-63	49	43	-23	-35.0%	206	+269	-	300		
	(対売上高率)	(3.1%)	(-1.2%)	(0.7%)	(2.0%)			(3.3%)			(3.5%)		
	営業利益	57	-50	64	51	-6	-9.9%	208	+258	-	300		
	(営業利益率)	(2.6%)	(-0.9%)	(0.9%)	(2.4%)			(3.3%)			(3.5%)		
産業機械 事業	売上高	723	1,962	2,752	869	+146	+20.2%	2,522	+560	+28.5%	3,430		
	産業機械軸受	620	1,677	2,341	710	+89	+14.4%	2,071	+394	+23.5%	2,815		
	精機製品	102	285	411	159	+57	+55.5%	451	+165	+58.0%	615		
	セグメント利益	22	25	77	81	+58	+263.0%	222	+197	+787.9%	315		
	(対売上高率)	(3.1%)	(1.3%)	(2.8%)	(9.3%)			(8.8%)			(9.2%)		
自動車 事業	売上高	1,358	3,186	4,497	1,191	-167	-12.3%	3,530	+343	+10.8%	4,790		
	自動車軸受	698	1,652	2,335	648	-50	-7.2%	1,892	+241	+14.6%	2,550		
	自動車部品	660	1,535	2,162	543	-117	-17.8%	1,637	+103	+6.7%	2,240		
	セグメント利益	39	-92	-40	-42	-81	-	-39	+53	-	-40		
	(対売上高率)	(2.9%)	(-2.9%)	(-0.9%)	(-3.5%)			(-1.1%)			(-0.8%)		
	営業利益	39	-92	-40	-132	-171	-	-130	-37	-	-130		
	(対売上高率)	(2.9%)	(-2.9%)	(-0.9%)	(-11.1%)			(-3.7%)			(-2.7%)		
その他	売上高	120	301	429	146	+26	+21.5%	441	+141	+46.7%	605		
	営業利益	5	3	10	4	-1	-26.1%	21	+18	+665.7%	25		
	(対売上高率)	(4.3%)	(0.9%)	(2.3%)	(2.6%)			(4.7%)			(4.1%)		
売上高消去		-56	-146	-203	-55	+1	-	-166	-19	-	-225		
その他の営業損益/調整額		-10	15	17	99	+109	-	95	+80	-	90		

※セグメント利益：営業利益からその他の営業損益（為替差損益ほか）を除いたもの

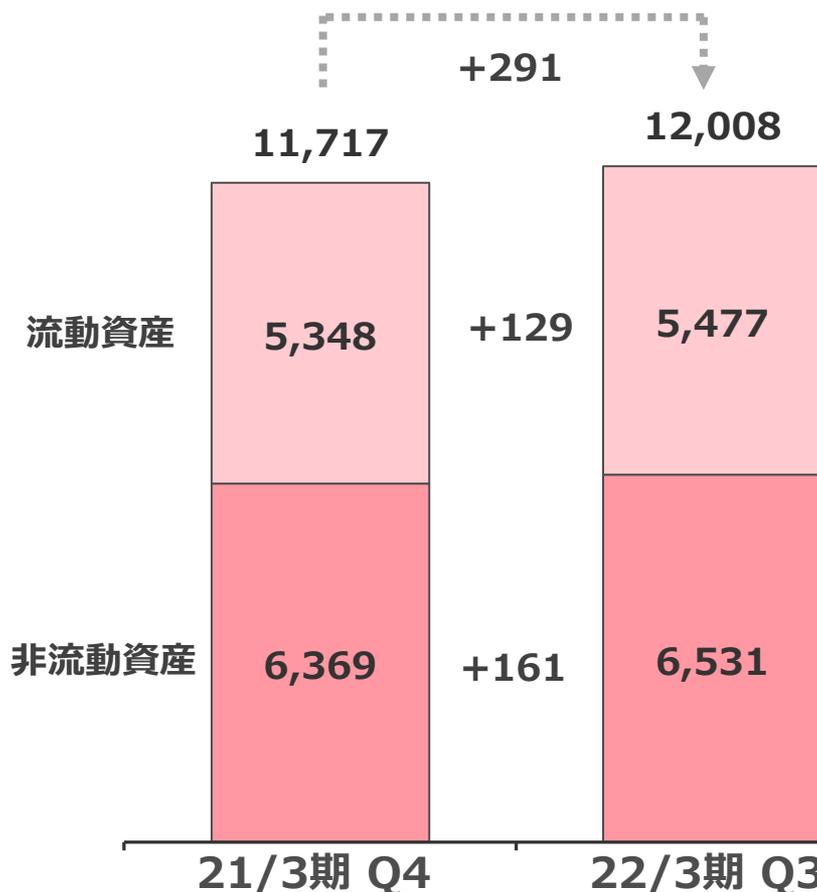
補足. 顧客地域別売上高

(億円)	21/3期		22/3期			22/3期		
	Q3実績	Q3累計	Q3実績	増減額	伸び率	Q3累計	増減額	伸び率
売上高	2,144	5,303	2,150	+6	+0.3%	6,328	+1,024	+19.3%
日本	793	1,919	775	-17	-2.2%	2,343	+424	+22.1%
海外合計	1,352	3,384	1,375	+23	+1.7%	3,985	+601	+17.8%
(海外比率)	(63.0%)	(63.8%)	(63.9%)			(63.0%)		
米州	300	767	299	-1	-0.4%	903	+136	+17.7%
欧州	271	652	269	-1	-0.5%	804	+152	+23.4%
中国	475	1,268	482	+7	+1.5%	1,341	+72	+5.7%
その他アジア	306	697	324	+19	+6.1%	937	+241	+34.5%
換算レート								
1USD	104.5	106.1	113.7	+9.2	+8.8%	111.1	+5.0	+4.7%
1EUR	124.5	122.4	130.1	+5.6	+4.5%	130.6	+8.3	+6.7%
1CNY	15.8	15.4	17.8	+2.0	+12.5%	17.3	+1.8	+11.7%

補足. 財政状態

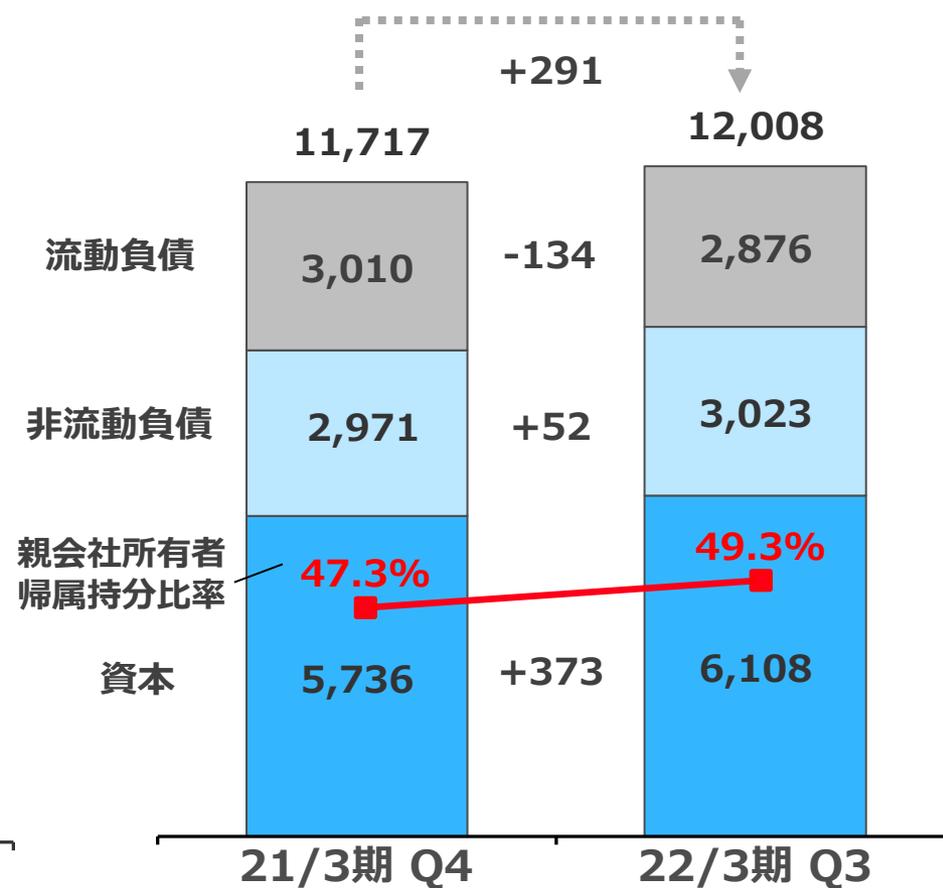
資産

(億円)



負債/資本

(億円)



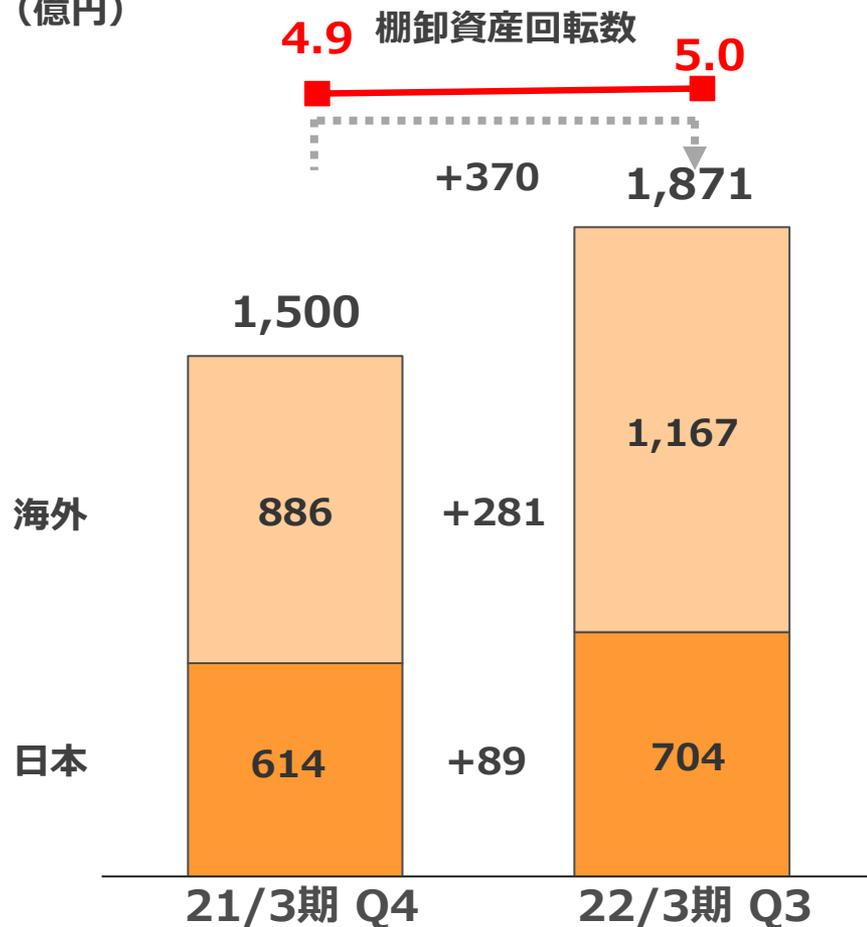
当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため、21/3期Q4の資産および負債/資本にその修正が反映されております。

換算レート	21/3期Q4末	22/3期Q3末
1USD	110.7	115.0
1EUR	129.8	130.5
1CNY	16.9	18.1

補足. 棚卸資産/有利子負債

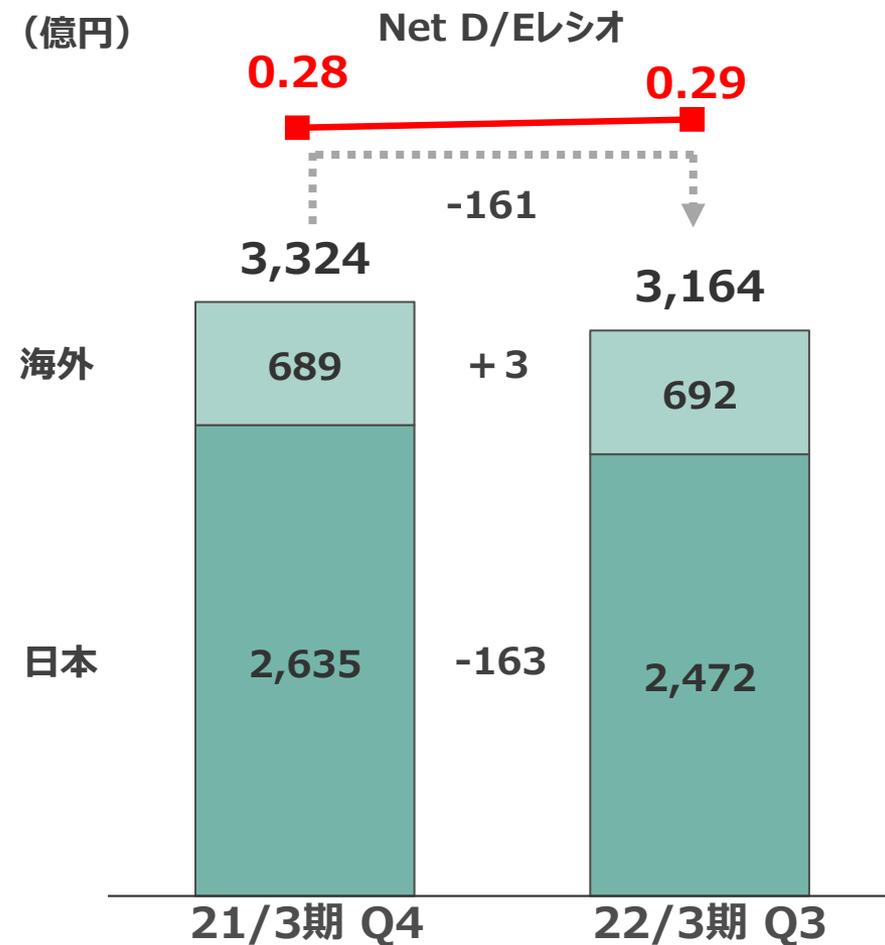
棚卸資産

(億円)



有利子負債

(億円)



換算レート	21/3期Q4末	22/3期Q3末
1USD	110.7	115.0
1EUR	129.8	130.5
1CNY	16.9	18.1

補足. 設備投資額/減価償却費/研究開発費

(億円)	21/3期	22/3期			通期 予想
	通期 実績	Q1実績	Q2実績	Q3実績	
設備投資額	373	52	136	119	510
設備投資額 (リース除く)	341	46	89	114	510
減価償却費	545	139	142	146	550
減価償却費 (リース除く)	500	128	130	134	505
研究開発費 (制度決算ベース)	168	44	50	52	170
参考) 技術関連費用	286	74	77	79	300



NSKの企業理念

NSK は、MOTION & CONTROL™ を通じ、
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSKビジョン2026

あたらしい動きをつくる。

あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる 明日 を実現するための、
次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、
誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

私たちが未来を動かしていく。